



校長室だより

やる気みなぎる『楽しい』学校



きまがせ

令和6年11月8日
野田市立木間ヶ瀬小学校
校長 松藤 有里

今年度の持久走の取組について



早いもので、2024年も残り2か月、学校では次の学年に引き継ぐための後半戦が始まって1か月、というところです。

さて、先日ブログでもお伝えしましたように、5年生が体育の時間で「心地よい走りを見つけよう!」の学習を行いました。「人と比べて遅いとか速い」ではなく、「自分にとって心地よい疲れ感のある速さ」を考えることがねらいの学習です。一般的に「体育が好き」と答える児童は多いですが、「持久走」に対する意欲はどうしても低くなりがちです。正直なところ、私自身もそうでしたが、持久走=きつだけの運動という印象があるのだと思います。現在の学習指導要領では、「運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を養う」ことが体育科の重要なねらいの一つであることが示されています。また、「持久走」は「陸上運動」としてではなく、「体づくり運動」の例示の運動の一つとなっています。さらに、「体づくり運動」は、「体力の向上をねらいとするが、~~(中略)~~自己の課題をもち楽しく運動を行いながら体の動きを高めるとともに、学んだことを生かして授業以外でも取り組むことができるようにすることが重要である。」とも書かれています。そもそも「持久走」に、何のために取り組むのか、学校で当たり前とされてきた持久走大会のあり方を改めて考えてみました。

そこで、今年度の持久走への取組について、校内で以下のことを共通理解し、今後の指導にあたりますので、保護者の皆様にもご理解いただきたいと思います。

- ・速さや順位を競い合う「長距離走」とは区別し、「持久走」は、**自分に合ったペースで一定の時間走り続けることをねらいとする。**
- ・体育の学習の中で「自分に合った心地よいペース」をつかんでコース試走に臨むことによって、**個々の目標タイムを設定する。**記録会では、**より目標タイムに近づくような走り**を心掛ける。
- ・順位判定は行わず、目標設定タイムと実際のタイムを記載した記録証を完走者に配付する。(見事、目標設定タイム±10秒以内でゴールした児童には、学校特製ピー助ピーちゃんしおりを贈呈します。)

明日は、いよいよ「木小フェスティバル」!!
みんなで協力して、最高の思い出を今つくろう

今年度の木小フェスティバルは、「心のバリアフリー」「共生社会」について、学校全体で学んできたことを活かしたものとなるように、子どもたちは準備を頑張っています。保護者の皆様にも、子どもたちの活動の様子を、是非ご覧いただければと思います。

